

仙台市市民活動サポートセンター
開館20周年記念イベント

ワクを
超える!

想像を
超える!

これまでの
超える!

超! マチノワ

2019.6.30 SUN

9:30~17:30

仙台市市民活動サポートセンターは、おかげさまで2019年6月に開館20周年を迎えます。

市民活動の歴史、現在取り組まれている市民活動や企業の社会貢献活動の紹介、

市民による企画を詰め込んだ

「仙台市市民活動サポートセンター開館20周年記念イベント 超! マチノワ」を開催します。

仙台のこれまでとこれからのまちづくりを考え、既存のつながりやセクターのワクを超えて、

想像を超える「マチノワ」へと一歩ふみだすこの機会に、ぜひご参加ください。

会場 仙台市市民活動サポートセンター全館

シンポジウム1

「脱スパイクタイヤ運動」から考える 市民協働

申込みフォーム

時間 10:00~12:00
会場 6階 セミナーホール

参加費 無料 定員 60名
パソコン 要約筆記あり

ゲスト

西川善久さん

当時河北新報社記者、元株式会社ベガルタ仙台 代表取締役社長、
現株式会社ベガルタ仙台 経営アドバイザー

菅野拓さん

大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員/人と防災未来センターリサーチフェロー

その他、当時運動に関わっていた方々

「仙台砂漠」という言葉を知っていますか?いまから40年以上前、仙台市内は冬用タイヤ「スパイクタイヤ」が路面を削った粉じんで、100m先すら見えないと言われるぐらい、もうもうとしていました。もちろん、多くの方がマスクをつけるなど、健康にも悪い。その状況をなんとかしようと、立ち上がったのは仙台市民たち。結果、全国でも有名な「脱スパイクタイヤ運動」が繰り広げられ、国の法律すら変えました。この運動が無ければ、仙台の冬の風物詩「光のページェント」も楽しめなかったでしょう。運動に関わった方々と研究者をお招きし、どうやってはじまったのか、どう広げたのかについてうかがい、これからの市民協働の在り方を共に考えます。



▲脱スパイク運動「仙台砂漠」(昭和58年)



▲「青空が戻った街並」(平成4年)

出典:さば仙台砂漠:脱スパイク運動は市民の投書から始まった



シンポジウム2

NPOと政策形成のこれから -震災後のNPOに学ぶ-

申込みフォーム

時間 13:30~15:30
会場 6階 セミナーホール

参加費 無料 定員 60名
パソコン 要約筆記あり

話題提供者

水戸部秀利さん

特定非営利活動法人さらさら発電・市民共同発電所 理事長

村島弘子さん

特定非営利活動法人移動支援Rera 代表理事
他、調整中

コメンテーター

大滝精一さん

大学院大学至善館 副学長

コーディネーター

石井山竜平さん

東北大学大学院 教育学研究科 准教授

日常にある暮らしの中の困りごとやつぶやきに耳を傾け、自治体や政府へ代替案を示して政策提言を行う、いわゆるアドボカシー活動はNPOの特徴的な活動です。特に東日本大震災を機に、市民が安心して暮らせる環境をつくらうと自ら動いた現場がありました。本シンポジウムでは、エネルギー問題、避難生活に伴う高齢者の困りごと、看取りにまつわる問題から、現状を知り、学び、暮らしの質がより向上するために私たちには何ができるのか、共に考えます。

サポセン・コトハジメ塾

時間 12:00~12:30/15:00~15:30 申込みフォーム

会場 1階 マチノワひろば

参加費 無料 定員 10名

講師

サポセンスタッフ

ボランティアに関心のある方、地域のために何か始めてみたい方やまちづくりに関わってみたい方を対象に、市民活動の基礎知識を事例とともにお伝えします。講座のあとには、サポセンの機能を紹介する、サポセンガイドツアーも開催します。



お申込みについて/
「超!マチノワ」お申込みフォーム

お申込み開始日

2019年6月6日(木)9:00スタート

仙台市民活動サポートセンターホームページ内に設置した、お申込みフォームよりお申し込みください。複数のプログラムを一度にお申し込みいただくことも可能です。お申込みフォームご利用の他、窓口・TEL・FAXでも承ります。お申込みが必要なプログラムは先着順にて受付し、定員になり次第締め切ります。

※いただいた個人情報は、本企画および市民活動サポートセンターの事業以外では使用いたしません。



サポセン20周年「超!交流会」

時間 16:00~17:30(開場15:30) 申込みフォーム

会場 地下1階 市民活動シアター

参加費 500円 定員 60名
パソコン 要約筆記あり

ゲスト



NPO法人J-PAL

サポセン20周年記念の交流会です。サポセンにゆかりのあるパフォーマーの皆さんをゲストにカントリーダンスやジャグリング、サポセンの懐かしい写真を見ながら交流しましょう。お久しぶりの皆さんから、はじめましての皆さんまで、ご参加お待ちしております!



ホゴノプロフィス



海藤節生さん

NPO法人水守の郷七ヶ宿 歌う理事長



NPO法人パソコン要約筆記文字の都仙台による
耳の不自由な方向けの情報保障が付きます。

市民参加 企画

仙台をもっと住みやすい、より魅力あふれるまちにしよう
多くの市民・市民活動団体が、できることを考え、活動を続けています。
20周年という節目を迎えるにあたり、日頃サポセンを利用する
市民活動団体の皆さんが多種多様な企画を持ち寄ってくれました。
この機会に各団体の活動や取り組む課題に触れてみてください。

主催 市民スポーツボランティア SV2004

スポーツボランティア 説明会&マッチング

要申込み

時間 9:30~12:00

会場 地下1階 市民活動シアター

参加費
無料

定員
100名

この春仙台に「せんだいスポーツボランティアステーション」が発足しました。登録希望者への説明会と、プロスポーツチームをはじめ、さまざまなスポーツ団体とボランティアをしたい方たちとのマッチングの機会です。



申込み・問合せ先: izumita@dm.mbn.or.jp

参加予定団体

ベガルタ仙台/楽天野球団/仙台 89ERS/ヴォスクオーレ仙台
大相撲仙台場所/宮城復興マラソン/ツールド東北
グランディ・21ボランティア
市民スポーツボランティア SV2004 など
(参加団体は予定であり、変更の可能性もございます)

共催: スポーツコミッションせんだい

主催 NPO法人World Open Heart

息子が人を殺しました -加害者家族の真実-

申込み不要

時間 13:00~15:00

会場 4階 研修室5

参加費
無料

定員
50名

「高齢の親が死亡事故を起こした」「子どもがいじめの加害者になった」。連日のように報道される事件。批判の矛先は加害者本人以上にその家族に向けられる。家族が「加害者」になるリスクは日常に潜んでおり、決して他人事ではありません。2008年、仙台市を拠点として日本で初めて加害者家族支援団体として立ち上がったNPOが、加害者家族の現状と支援の必要性について語ります。理不尽なメディアや刑事司法に対して市民として何ができるのか、一緒に考えてみませんか。

問合せ先: 090-5831-0810 (阿部恭子)

市民ライターが市民企画の見どころを紹介します! マチノワプレスセンター

どの企画に参加しようか悩んでいる方、必見です。市民ライターが、市民企画を応援しようと団体に直撃インタビュー!いち早く企画の見どころを取材しサポセンのブログで発信します。お楽しみに。



サポログ@仙台

市民ライター

阿部哲也さん / 平塚千絵さん / 阿部えりこさん / 鈴木はるみさん

市民ライターとは、サポセンが2014年から河北新報社と共催で行ってきた、「市民ライター講座」を受講し、取材・執筆のノウハウを学んだ市民の方々です



主催 WorKafe(ワーカフェ)

働く人の座談会 ~職場の垣根をこえて 悩みをシェアしよう~

申込み不要

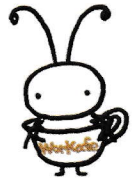
時間 13:00~15:00

会場 4階 研修室3(床座)

参加費
無料

定員
24名

働く人が集まって職場の悩みをシェアできる座談会を行います。悩みの性質、問題の大きさを問わず誰でも参加可能です。悩みをシェアし、意見交換を行いましょう。(※個人情報等は秘密厳守)問題解決への橋渡しも可能です。



問合せ先: 080-1841-0084

workafe219@yahoo.co.jp (中林昭弘)

主催 わしん倶楽部

参加型災害対応カードゲーム クロスロード

要申込み

時間 13:30~15:00

会場 1階 マチノワひろば

参加費
無料

定員
20名

クロスロードは、阪神淡路大震災時の行政職員の方々の実話をもとに作成されたカードゲームです。様々な場面における判断をシミュレーションゲーム「クロスロード」で体験することにより、災害時のジレンマを自分事として考え、いろいろな価値観があることに気づくことができます。



わしん倶楽部では東日本大震災後、市民の皆様の体験をもとに「みちのく版宮城野編」を作成致しました。是非、楽しく学べる防災教育教材「クロスロード」を体験してください!!

申込み: sendai.washinculb@gmail.com

問合せ先: 090-7663-6895 (田中勢子)

市民活動団体や
企業の社会貢献活動を
紹介します。

ポスター展示

時間 10:00~17:30

会場 4階・6階廊下の壁面



鈴木はるみさん



阿部哲也さん



平塚千絵さん



阿部えりこさん

プログラム一覧

9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00




6階 セミナーホール	「脱スパイクタイヤ運動」から考える 市民協働	10:00～12:00	
	NPOと政策形成のこれから -震災後のNPOに学ぶ-		13:30～15:30
4階 研修室3(床座)	働く人の座談会 ～職場の垣根をこえて悩みをシェアしよう～		13:00～15:00
4階 研修室5	息子が人を殺しました -加害者家族の真実-		13:00～15:00
1階 マチノワひろば	参加型災害対応カードゲーム クロスロード		13:30～15:00
	サポセン・コトハジメ塾	12:00～12:30	15:00～15:30
地下1階 市民活動シアター	スポーツボランティア説明会&マッチング	9:30～12:00	
	サポセン20周年「超!交流会」		16:00～17:30(開場15:30)

サポセンとは

「自分たちの住むまちや社会を、もっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援しています。仙台市市民活動サポートセンター（サポセン）は、様々な分野の市民活動やボランティア活動の支援施設です。市民活動をしている方、市民活動に興味のある方など幅広い方々にご利用いただけます。また、まちづくりの担い手である多様な主体が連携・交流する機会を提供し、協働によるまちづくりを推進します。

マチノワとは、まちに暮らす多様な主体の力を活かしあえる、「人」と「人」、「人」と「まち」のゆるやかなつながりを意味する造語です。

アクセス

-  JR仙台駅西口から徒歩15分(約1.1km)
-  地下鉄南北線広瀬通駅西5番出口すぐ
地下鉄東西線青葉通一番町駅
北1番出口徒歩6分(約450m)
-  市営バス「商工会議所前」徒歩3分
「電力ビル前」徒歩3分 / 「広瀬通駅」徒歩5分

※市民活動サポートセンターには、駐車場・駐輪場はございません。
ご来館には公共交通機関をご利用ください。

申込み・問合せ先

仙台市市民活動サポートセンター

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3 TEL 022-212-3010 / FAX 022-268-4042 HP: <https://sapo-sen.jp>

[開館時間] 9:00-22:00(月-土) / 9:00-18:00(日・祝日) [休館日] 第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日の木曜日)

